



矢中矢高合同部活動による部活動地域展開



中高生が意見を述べたやかげ中高生議会



子どもたちが交流を深めた夢の教室



沖縄県金武町から琉球舞踊団を招いたやかげ音楽祭



## 目次

特集 ..... ②～③

学校だより ..... ④～⑦

公民館だより ..... ⑧～⑪

文化財・健康スポーツこの一年 ..... ⑫

やかげ郷土美術館この一年 ..... ⑬

文化センター・図書館この一年 ..... ⑭

## 「矢掛発～地域と未来を担う人づくり～」



矢掛町では、家庭、学校園、地域のつながりを大切にして、「ふる里やかげを愛する人づくり」「変化の激しい社会を生き抜く力の育成」「学びを通じたウェルビーイングの向上」を基本方針に、地域と未来を担う人づくりを進めています。

また、生涯学習や文化財の保存活用等を推進し、文化・スポーツ振興を図り、学びを通じた人づくりや安全・安心の地域づくりなど、魅力ある地域社会の形成を目指します。

※ウェルビーイング・個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く職場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあること。自分の生きる道だけでなく、家族や友人、住む街・国がどのようにすれば良い状態でいられるのか考えること。

令和8年3月

矢掛町教育委員会教育長 山部英之

### 矢中矢高合同部活動がスタート

少子化が進む中、生徒達が継続的にスポーツや文化活動に親しむ機会を確保するため、矢掛町では令和7年度から「矢中矢高合同部活動」という部活動地域展開を行っています。矢掛中学校の生徒は、NPO法人やかげスポーツクラブの会員となり、矢掛高校にある部活動も選んで参加できるようになりました。種目によって合同活動日はさまざまですが、声をかけたり相互に高め合ったりしながら活動しています。



また、指導者については、平日も含め各クラブの指導は「クラブ指導員・指導サポーター」と呼ばれる地域の方を中心に行っています。この中には、兼職兼業の許可を受けた教員もいます。生徒にとっては、従来の平日の放課後の活動が午後6時まで延長されたことに加え、クラブの選択肢が増え、より専門的な指導が受けられるようになるなど、様々なメリットがあり、クラブ活動への加入率が令和6年度より増加しました。



矢掛町で子どもたちの「やりたい」を叶えるためには、指導者確保や協力により、安定的に矢中矢高合同部活動の運営を継続していく必要があります。

地域・保護者の皆様には、部活動地域展開にご理解・ご協力をいただきますとともに、指導者の登録を随時行っていますので、興味のある方は教育委員会までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



### やかげ中高生議会を開催

7月30日「やかげ中高生議会」を町役場議場で開催しました。

これは町政に関心を持ってもらい、中高生目線での持続可能な地域・社会の実現に向けた問題意識の創出へ結びつけることを目的に企画しているものです。これまで、矢掛中学校2年生を対象に行っていた「模擬議会」をより発展させ、参加対象を矢掛中、小北中、矢掛高校の生徒に拡大。公募により参加希望者を募り、議長役・議員役含め10人が参加しました。

参加生徒たちは3回の事前ワークショップで、矢掛町のまちづくりについて知る中で新たな発見や課題を見つけ、自分なりに質問や提案を考えていきました。その中には、「農業の担い手確保」「イタリア野菜の活用」「ふるさと納税受入額の増加の要因や今後の取り組み」「人口対策」「かわまちづくり」に関することなど、大人とは違う斬新な視点が組み込まれていました。

議会当日は緊張感の漂う議場の中で、町幹部に対して自分たちの質問や意見を堂々と発言。生徒たちは「町のことを皆で話し合うという重要性や緊張感を味わえて良い経験になった」と充実した様子でした。



## 矢掛宿が重伝建に選定されて5周年を迎えました

矢掛宿の町並みが、令和2年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、5周年を迎えたことを記念し、12月14日に講演会・イベントが開催されました。

講演会では、伝建地区の調査に大きく関わられた島田敏男先生をお招きし、伝建制度という視点から、矢掛宿の歴史や町並み保存の歩みをお話いただきました。県外から参加された聴講者もおられ、重伝建と矢掛宿への関心の高さを感じられました。

また、イベントでは約2,000人が地区を訪れ、本陣脇本陣の無料開館やガイドツアー、子ども向けの縁日などで、矢掛宿を満喫していました。とくに本陣では、華道家元池坊で、矢掛町出身の江木淳人さんら3名の華道家による華道パフォーマンスが披露され、舞台となった酒倉は来場者の感嘆の声に包まれました。パフォーマンス後は、このイベントのために展示された作品についての解説もあり、多くの参加者が華道の奥深さに魅了されていました。



おめでとうございます



第89回岡山県児童生徒発明くふう展  
岡山県知事賞  
美川小6年 中原 魁心さん (写真左)  
日本弁理士会会長奨励賞  
矢掛小4年 平野晴太郎さん (写真右)

令和7年度児童生徒人権啓発ポスター  
岡山県町村会長賞  
矢掛中3年 守屋このみさん



県青少年健全育成成功労者表彰  
備中県民局長表彰 (団体)  
小田公民館ボランティアグループ「小田隊」

# 学校だより

## 主体的に活動する児童の育成

～地域の方との交流を通して～

本校では今年度「美川地域のためにできることを考えよう」をテーマに、生活科や総合的な学習の時間を通じた地域連携活動を推進しました。

低学年は、地域ボランティアの指導で野菜の栽培や収穫を体験し、直接的な交流を通して、地域の方々への親しみと感謝の心を育みました。

中高学年は「地域の人を笑顔にしよう」を目標に2班で活動しました。交流チームは、地域の良さを教わって動画にまとめたほか、シニアクラブとのカローリングやバドミントン大会を企画し絆を深めました。ダンスチームは地域の魅力を盛り込んだ歌詞で健康ダンスを創作。「一緒に動いて足腰を伸ばし、健康になってほしい」との願いから振付を工夫し、公民館行事や学習発表会で披露して元気を届けました。

全校での昔遊びでは、地域の方に手ほどきを受けながら伝統文化を楽しみました。これらの活動を通じ、児童は地域の一員としての自覚を高め、主体的に貢献しようとする姿勢を養いました。

## 美川小学校



健康ダンスを地域の方と「やかげんきダンス～美川バージョン～」



地域の方に教わって、アスパラガスの収穫

## よい姿勢を意識して生活する子ども

## 矢掛小学校

矢掛小学校では、「スクラム21総会」という熟議の会を6月に開催し、子ども達の体幹力の向上のために何ができるかを、学校、家庭、地域の代表が集まって話し合いました。この会での協議から、「親子で体幹トレーニング」に取り組むことや「毎月14日は良い姿勢の日」の設定等、具体的なアイデアが生まれました。

また、9月には、学校保健委員会「すこやかミーティング」を行い、矢掛町の健康運動指導員をお招きして、正しい座り方のコツを全校で学びました。骨格模型を用いた「骨盤を立てる」状態の解説は大変分かりやすく、今では全校の合い言葉として定着しています。健康委員会は、体幹トレーニング「姿勢体操」動画を作成し各教室で紹介するなど、日常的な習慣化に向けて意欲的に取り組んでいます。

「姿勢改善」には集中力の向上等のメリットもあり、「姿勢が整えば、学びが深まる」ことを子どもたちが実感できるよう、今後も家庭・地域と協力しながら粘り強く取り組んでいきたいと思えます。



健康委員会による姿勢体操の紹介



健康運動指導員による姿勢についての話



親子で体幹チャレンジカード

## 小田郡人権教育研究校としての取組

三谷小学校

三谷小学校では、小田郡人権教育協議会より、令和7年度からの2年間、人権教育研究校の指定を受けています。

今年度の研究では、「学校生活の充実と向上を目指し、人・社会と主体的につながろうとする児童の育成」を研究主題とし、学級活動における人権教育を中心とした授業づくりの研究を行っています。

研修会では、各学年1回ずつの授業公開を通して、児童の人権感覚の醸成を図っています。

第2学年の学級活動「うれしいことばとかなしいことば」では、小田郡人権教育協議会のご助力をいただき、指導案検討を行いました。そして、岡山県総合教育センターより指導主事を招聘し、人権教育において大切なことをご指導いただきました。12月に行われた公開授業では、児童の感想から「言葉には人を喜ばせたり悲しませたりする力があること」や、「人によって受け取り方が違う言葉もあること」を学べたようです。

令和8年度には郡内小中学校に向けて授業公開する研究大会があります。そこに向けて教職員一同一丸となって授業改善に取り組んでいます。



指導主事を招聘しての授業検討会



2年生公開授業  
「うれしいことばとかなしいことば」

## 学校支援ボランティアとともに

山田小学校

子ども達の学習支援や安全確保などのために大勢の方がボランティアとして、山田小学校の活動に関わってくださっています。朝の学習では、プリントの答え合わせやアドバイスなどをしてくださり、子ども達も集中して取り組むことができます。毎月の読み聞かせも「今日はどんなお話かな？」と子ども達はいつも楽しみにしています。ミシンボランティアの皆さんは、子ども達の学習支援だけでなく、毎年楽しみにしている伝統の「茶摘み祭り」に向けて、子ども達の着物の確認や着物直し、サイズ合わせなど、陰で支えていただいています。長寿会の方々は低学年との芋植えや芋掘り、昔あそびや七輪体験など、子ども達とともに様々な活動に参加してくださっています。

他にも生け花教室や歌唱指導、町探検、安全パトロールなど、子ども達は、たくさんの方に見守られている安心感のもと、充実した日々を送っています。地域の方とのつながりが、ふる里を大切に子どもを育てることにつながっています。



いもほり



ミシンボランティア



朝の学習支援

## 地域とともにつくる学び舎

川面小学校

### ～ クラブ活動における地域連携 ～

川面小学校は、日頃より「地域とともにある学校づくり」を推進しています。その取り組みの一環として、クラブ活動の時間において、地域の皆様との交流を深める貴重な学びの場を設けています。

本年度は、生涯スポーツ、野外活動、ハンドメイドの3つのクラブ活動に、地域の皆様を指導者としてお招きしたり、活動の場を地域へ広げたりする形で連携を進めています。

ご協力くださる地域の皆様は、生き生きと、そして楽しそうに子どもたちに知識や技能を伝えてくださっています。そのおかげで、子どもたちはグラウンドゴルフと一緒に楽しんだり、地域の川の生き物調査や、伝統的なしめ縄づくり体験などを通して、郷土の良さを肌で感じたりしています。子どもたちにとって、毎回のクラブ活動はかけがえのない楽しみに、そして深い学びの機会となっています。

この充実した活動は、地域学校協働活動推進員の方による温かい橋渡しと、ご指導・ご協力くださる地域の皆様の深いご理解と熱意のおかげで実現しています。この貴重な体験を通して、子どもたちがふるさと川面への誇りを育み、将来、社会に貢献できる人材へと成長していけるよう、今後も地域との連携をさらに深めていきます。



グラウンドゴルフ



川の生き物調査



しめ縄づくり

## 学校・家庭・地域・関係機関が連携した安全教育

中川小学校

中川小学校は、安全教育の取り組みが評価され、昨年度末に中国地方初のセーフティープロモーションスクールに認証されました。今年度も、学校・家庭・地域・関係機関が連携して、防災教育、避難訓練、交通安全教育、不審者対応などの様々な安全教育に取り組んでいます。

「地域合同防災訓練」では、高学年児童が体育館での避難所運営をして、参加者に各ブースで防災道具の説明や避難所体験の補助を行いました。消防署の方には、煙ハウスでの煙体験や消火器を使った消火体験にも協力していただきました。児童や保護者は、実生活でも役立つ貴重な体験をして、防災スキルを高めることができました。

本校の研究では、西日本豪雨災害での中川地区の小田川の氾濫を教材にしたり、避難所の体育館に段ボールベッドがいくつ並べられるかを予測したりするなど、興味深い研究授業が見られました。PTA活動では、救命救急法講習会、交通事故で亡くなった子どものご遺族の方の講演会など、命の尊さを考える機会をもちました。

今後も、児童一人一人の安全意識を高めるための取り組みを推進していきます。



地域合同防災訓練



消火体験

## 学びを委ねる

小田小学校

令和7年度は4月から「学びを委ねる」をキーワードに、子どもたちの主体性を今まで以上に発揮できるよう、学びの場の工夫を行っています。そして、全学年の研究授業をとおして指導法の工夫について研究協議を積み重ねているところです。

写真の様子は、1年生の生活科で「むしをさがして かんさつしよう」をめあてに昆虫採集をしているところです。「どこに、どんな生きものがいるのか」、「知りたい生きものはどこにいるのか」計画を立てて取り組みました。

取組の結果、児童のアンケート「知りたいことややりたいことを自分からやろうとする」の問いに対して、肯定的な回答が7月では、78.4%でしたが、12月では86.5%になりました。「学びを委ねる」ことにより、子どもたちの主体性が伸びていることに手応えを感じています。



ダンゴムシ発見



タブレットで拡大して観察中

## 生徒の手で実現した自動販売機の設置

矢掛中学校

～地域とともに進める矢掛中のまちづくり～

生徒は、ただ要望を出すだけでなく、「自ら考え行動」しています。昨年度の「やかげ未来まちづくりフォーラム」では、文化センターで根拠を提示して自動販売機の設置を提案。さらに、他県の中学校へのアンケートで実際の運用課題を調査し、PTAや学校運営協議会の皆様とも協議を重ねました。生徒だけでなく保護者や地域の方々の視点から、運用ルールを考え抜きました。

設置された自動販売機は、日々の熱中症予防はもちろん、災害時には飲料を供給する「地域の備え」としての役割も果たします。

自分たちに必要なものを考え、周囲の理解を得ながら、責任を持って一つの形にする。そのプロセスで見られた生徒の「自ら考え行動する」姿は、自動販売機の設置という結果以上に、これからの学校、そして矢掛の町を共に創っていく、SDGs11「住み続けられるまちづくりを」目指す矢掛中学校の象徴的な活動となりました。



R 6.7.31. やかげ未来まちづくりフォーラム



自動販売機設置セレモニーの様子

# 公民館だより

## 防災フェスタでいろいろな防災体験をしよう！ ●矢掛公民館●



①紙芝居&クイズコーナー



②防災関連書籍コーナー



③簡易担架体験コーナー

昨年から防災教室を実施していますが、本年度は参加者（特に子供たち）の防災意識を高めるため、体験型防災フェスタを実施しました。当日は、矢掛公民館体育部を中心に、矢掛町消防団、岡山県立大学消防応援隊の協力を得て、様々な体験ブースを設け、スタンプラリー形式で行いました。成果として、ブースでの多様な体験を通して子供たちは楽しみながら防災意識を高めることができました。

①紙芝居&クイズコーナー…県立大学生消防応援隊による防災紙芝居の読み聞かせとクイズ

②防災関連書籍コーナー…図書館の協力を得て、子供たちに興味のあるような書籍を多数展示

③竹と毛布の簡易担架体験コーナー…矢掛町消防団の協力で、竹と毛布の簡易担架体験

④防災グッズコーナー…準備しておきたい防災グッズの展示

⑤防災カレーコーナー…防災カレーに水を注ぎ、全員で試食



④防災グッズコーナー



⑤防災カレーコーナー

## 新しくなるごみ出しルールを学ぶ

## ●美川公民館●

### ～分別方法の変更点をわかりやすく解説～

12月2日(火)、美川公民館で「ごみ出し講座」を開催しました。焼却場の移転に伴い変更となる分別方法や出し方について、役場職員を講師に迎え、わかりやすく説明していただきました。当日は平日にもかかわらず、地域の皆さん58人が参加し、会場は満席となりました。

講座では、プラスチックごみの回収対象の拡大や、可燃ごみとして出せる品目の変更、ビデオテープや布団など出し方が変わるものについて、具体的な説明がありました。参加者は資料を見ながら熱心に聞き入っており、「前と何が違うのかわかって安心した」「基準がはっきりして助かる」といった声も聞かれ、疑問を解消する機会となりました。

今回の講座を通して、新しいルールを正しく理解し、今後も地域全体で協力しながら円滑に対応していくことの大切さを再確認する機会となりました。

今後も公民館では、生活の中で実際に役立つ講座を企画していきたいと思えます。



ごみ出し講座の様子

## 「学ぶ・集う・楽しむ」拠点は公民館

## ●三谷公民館●

自ら考え・学ぶ地域コミュニティの拠点として、三谷公民館は多くの活動に取り組みました。その中でも「夏祭りinみたに」と「文化祭」は一大イベントです。今年度も地区民参加のお祭りとして盛大に行うことができました。また、レクリエーション大会、防災訓練、夏冬休みの学習会等、世代間の交流にも積極的に取り組みました。文化講演会では町内の講師の方を招いて、地元小田川の生き物をテーマに、過去から現在に至るまでの小田川流域に住まう人々の営みを通じて、川が果たしてきた文化的役割を学びました。

地域コミュニティの拠点として、また開かれた公民館として、地域の人々の何気ないつぶやきが公民館活動につながる、そんな公民館でありたいと思います。



「郷土を知る」



祭りに「集う」



地区住民から茶道を「学ぶ」



矢高生と科学を「楽しむ」

## 茶摘みの絵 看板作成

## ●山田公民館●

毎年5月に山田小学校の全児童と保護者、地域の方が参加して行われる伝統行事「茶摘み祭り」。祭りの後には全児童が四つ切画用紙に絵を描き、自分たちの学校の魅力をPRします。その中から公民館の選考委員会が優秀作品を2点選び、公民館で縦2メートル、横3メートルの大きな看板を作成しました。

この看板は、選ばれた児童のお友達と保護者の方にご協力頂き、ポスターカラーで下描きの絵に色をつけていきます。大きな絵なので塗る場所も多く悪戦苦闘しながら作業すること3時間。みんなで協力して想いが詰まった力作が無事完成しました。

仕上げた看板は、山田地区文化祭のステージに展示してお披露目をし、最後に表彰式を行いました。その後は、山田公民館の駐輪場に一年間掲示して、地域の皆様をお迎えしてくれています。



公民館のホール一面で作業



みんなで協力して色塗り



山田地区文化祭でお披露目

## 手話カフェ

月に一度、手話を通じて誰もが気軽に参加できる「手話カフェ」を開催しています。

この活動は「やかげ手話サークル」の協力のもと、地域にお住まいの聴覚障害者の方々と交えて行っています。

ここは、教科書を開いて学ぶような難しい勉強会ではありません。美味しいお茶を片手に、最近の出来事や趣味の話をやったり語り合う、笑顔の絶えないあたたかな「交流の場」です。

参加者の顔ぶれは、最近始めたばかりの初心者から、手話歴の長いベテランまでさまざまです。「手話に興味はあるけれど、なかなか一歩が踏み出せない」「当事者の方と直接触れ合って、生の表現を学んでみたい」という方、ぜひ一度遊びに来てみませんか？お一人での参加も大歓迎です。皆さんとお会いできるのを、心よりお待ちしております！

## ●川面公民館●



コーヒーで乾杯



参加者は手話の経験も年代もさまざま

## 育て豊かな心

令和7年度は子どもたちに「楽しみながら情操教育」をコンセプトとして中川シネマ、造形教室などを開催しました。中川シネマでは3m×2mの大画面で映画「FLY!!」を鑑賞しました。渡り鳥の鴨なのに、外に出たことのなかった鴨たちが、外に楽園があると聞いて飛び立つ物語です。「家族愛や変化を恐れず新しい出会いへ挑戦する冒険心」などのメッセージが込められていました。また、フェイクパフェ作り、アートフラワーアレンジメントでは、講師の先生のご指導の下、公民館役員の方がお手伝いしてくださり、子ども達は手を汚しながらも色や素材を使っていろいろな形を自由に表現し、創意工夫を凝らした作品を作り上げました。この作品は、公民館フェスタで展示して、多くの方に見てもらいました。

## ●中川公民館●



中川シネマ



フェイクパフェ作り



アートフラワーアレンジメント

## ウォーキング大会&モータースポーツ界・チューニング界で ●小田公民館● 世界的に評価の高い(株)戸田レーシング 工場見学

11月16日(日)、秋晴れの穏やかな空の下、昨年同様吉備真備公園をスタート地点として、山田地区の(株)戸田レーシングまで約1時間の道のりをウォーキングしました。

少し長めの距離でしたが、色づき始めた秋の景色を眺めながら、参加者同士で会話を交わしながら歩く時間は、心身ともにリフレッシュできるひとときとなりました。

到着後は工場見学と会社説明を受け、展示場には迫力あるスポーツカーや精密なエンジン部品が並び、ものづくりへのこだわりや高い技術力を間近で感じることができました。見学後は館址亭で名物のうどんを味わいながら交流を深め、充実した一日を締めくくりました。



交流を深めながらウォーキング



(株)戸田レーシング



館址亭名物のうどん

## 矢掛町教育委員会の情報発信について

矢掛町教育委員会のホームページでは、様々な教育事業について情報発信を行っています。「小・中学校への入学や転校について」、「就学の支援」、「学校の運動場や体育館を借りたいとき」といった身近な手続きに関する項目も設けています。また、令和7年度の途中から「活動の様子」というページを設け、矢掛町の教育に関するニュースを写真とともに少しずつ紹介しています。



矢掛町教育委員会  
ホームページ

さらに、各地区公民館においてもホームページで情報発信に取り組んでいます。いずれも次のQRコードからアクセスしてください。



矢掛町地区公民館  
ホームページ

# 文化財この一年

## 【毎戸遺跡の発掘調査を行いました】

今年度の調査は、古代の建物に使用されていた木材の取り上げと、不明な点が残る地層を改めて調べることを目的とし、令和4～5年度に調査した区域の一部を再び発掘しました。

木材の取り上げ作業を進めるなか、当時の瓦も大量に発見され、その下から、予想していなかった新たな木材が見つかりました。これは、令和4年度に取り上げられた斗(ます)という木材と同じく、大変珍しく貴重なものと考えられます。発見されたこれらの木材には、加工した跡が良く残されていることから、当時の技術の高さがわかる資料として、全国の研究者からも注目を受けています。今後も、専門家から意見をもらいながら慎重に調査を続けていきます。



# 健康スポーツこの一年

## 明治安田×矢掛町包括連携プロジェクト ファジアーノ岡山普及コーチ指導サッカー教室

6月1日(日)町総合運動公園多目的グラウンドで、サッカー教室を開催しました。

これは、明治安田と、「元気な地域づくりへの取り組みを推進する」ことを目的に、令和4年度から毎年実施しているものです。

この度、ファジアーノ岡山普及コーチ4人をお迎えし、町内の小学生48人を対象に、基礎技術の指導やミニゲームなどを行いました。

コーチに直接指導していただき、また、一緒にサッカーができて、子どもたちをはじめ、保護者、指導者も笑顔溢れる教室となりました。



## 矢掛ライオンズクラブ杯第9回矢掛町民カローリング大会・第5回矢掛町民ニュースポーツ大会

9月17日(水)町B&G海洋センターアリーナで、カローリング大会を開催しました。矢掛ライオンズクラブにご協賛いただき、大会には、各地区サロンや有志チームなど、総勢23チーム・69人が参加し、町民の健康増進、並びに参加者相互の親睦・交流が図られました。

また、11月30日(日)には、ニュースポーツ大会(ポッチャ)を開催しました。大会には、各地区サロンなどから総勢16チーム・48人が参加し、ジャックボール目掛けカラーボールを投げ合い、各チーム白熱した大会になりました。



# やかげ郷土美術館 この一年

佐藤一章生誕120年・やかげ郷土美術館開館35周年記念特別展

## 「佐藤一章展」【会期6/21～9/21】

矢掛町名誉町民で洋画家の佐藤一章の代表作および新収蔵作品などあわせて52点を展示しました。会期中、佐藤一章次女・佐藤アキ子氏による二胡や中国箏の演奏会や岡山市立中央図書館学芸副専門監・飯島章仁氏による講演会「佐藤一章と戦災後の岡山」が行われ、多くの来場者が訪れました。



### 企画展

## 「わたしの愛蔵品展 中西草闘～筒井コレクションより～」【会期6/24～7/6】

岡山県西部を中心に独自の画風を展開した矢掛町出身の墨彩画家・中西草闘の作品約30点を紹介しました。来場者は、身近な山河や田園風景を題材に、墨の濃淡を駆使し、自然の美をダイナミックに表現した水墨画作品を楽しみました。



### 特別展

## 「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」【会期10/4～11/24】

画家・絵本作家である町田尚子氏による猫を題材とする原画作品約200点を展示し多くの来場者がありました。また、会期中「町田尚子サイン会」や「矢掛町立図書館司書による読み聞かせ会」、「うちの猫自慢コーナー（猫写真の展示）」、「ねこ型しおりづくり」など世代をこえて誰もが楽しめるイベントも開催し、大好評でした。



## 「やかげっ子おしゃべり美術館」& 学芸員出前授業

美術館・小学校連携事業 対話型鑑賞会「やかげっ子おしゃべり美術館」を開催しました。町内各小学校の4年生が来館し、ナビゲーターと共に作品を鑑賞しながら、感想などを自由に発言していました。併せて当館学芸員が7小学校に出向き、美術館でのマナーについてのクイズやミニワークショップなどを行いました。今後も美術館をより身近に感じてもらえる取り組みを継続していきます。



# 文化センターの一年

やかげ文化センターでは、自主事業として11月「HARMONY ～元タカラジェンヌたちの軌跡2025～」を開催しました。元タカラジェンヌたちが宝塚の名曲や名作ミュージカルの歌などを披露し、華やかなステージとなりました。12月には「やかげ音楽祭」を開催し、町内の音楽団体のほか、スペシャルゲストとしてフレンドタウンシップ協定を結んでいる沖縄県金武町から親泊流八重の会 仲田妙子琉舞研究所のメンバーらが出演。来場者は本場の琉球舞踊を堪能し、大盛況でした。

矢掛町音楽協会主催事業として、9月に「CLASSIC BALLET HIGHLIGHTS」を開催。さらに、11月には「廣津留すみれViolin Recital」を開催するなど、様々なジャンルの公演を通じて上質な音楽を届けました。



HARMONY ～元タカラジェンヌたちの軌跡2025～



やかげ音楽祭



CLASSIC BALLET HIGHLIGHTS



廣津留すみれViolin Recital



## 矢掛町立図書館行事2025



2025年は定例行事を始め毎年恒例の子ども読書週間、図書館フェスティバル、読書月間の行事の他に、やかげ郷土美術館とコラボしての読み聞かせも行いました。

<b>定例行事</b>  おはなしらんど		 えいごであそぼう		<b>子ども読書週間行事</b> パンどろぼうをつくろう		<b>“コラボ”</b> 矢掛本陣でこわ〜い おはなし会		<b>“コラボ” 読みきかせ会</b> 美術館の「隙あらば猫展」 で町田尚子さん絵本読み聞かせ	
<b>図書館フェスティバル</b> ジャムタン ワーク ショップ		ジャグリングショー		<b>「本」とあそぼうおはなし</b> 				<b>読書月間行事</b> 今だからこそみんなで 平和について考えよう	

